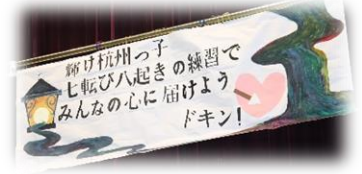




ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便り第143号
令和2年12月号

「ドキン!」と心に届いた 学習・生活発表会



11月14日(土)、秋晴れの好天に恵まれ「第13回杭州日本人学校 学習・生活発表会」を開催しました。今年のスローガンは「輝け杭州っ子 七転び八起きの練習で みんなの心に届けよう ドキン!」です。来賓の皆様を始め、多くの保護者の方にご観覧頂きながら、各学年の工夫を凝らした劇や演奏などの発表が行われました。

開会行事の後、伝統の中学部太鼓演奏「杭州太鼓」が始まり、2人の息の合った迫力ある演奏が会場中に響き渡りました。

続く1・2年生による劇「ほしがりのくま」は、衣装や小道具などに工夫を凝らし、一人一人が役になり切った発表でした。気持ちの込もったセリフと動作で、仲間たちとの温かい友情物語を演じました。



ぱんだ組の劇「3びきのやぎのがらがらどん」では、かわいいやぎの帽子を被った子どもたちが、小やぎ、中やぎ、大やぎそれぞれの役を声の大きさや動きで表現しながら元気よく演技ができました。

3・4年生の劇「本当の宝ものは」は、世界宝ものコンクールを舞台に今時の「リモート出演」を取り入れ、観ている大人に「本当に大切なものは何?」と改めて教えてくれる内容でした。

5・6年生と中学部による発表「HJS Broadcasting」は、「表現すること」をテーマに各自が取り組んできた課題の成果を、プレゼンテーションや現地レポート、英語を使って発表しました。どの番組も「さすが高学年と中学部だ!」と納得の内容でした。

小中学部の器楽演奏「カノン」は、鍵盤ハーモニカやリコーダーなど様々な楽器に旋律を移し変えながら、優しい音色のハーモニーを奏でました。

そして、学習・生活発表会のフィナーレを飾る小中学部による合唱「気球に乗ってどこまでも」と「夢の世界を」は、感情の込もった美しいハーモニーを奏で、会場中を素敵な「ドキン!」で満たしてくれました。

どの発表も、これまでの七転び八起きの気持ちで取り組んできた練習の成果を「全集中!」で発揮していました。杭州っ子一人一人が輝きを放った素晴らしい発表に、会場からも惜しみない拍手が送られました。舞台上で発表する子どもたちとそれを観ている人たち全員の心が一つになった学習・生活発表会だったと思います。



小中学部合唱

学習・生活発表会を無事に終えることができましたのは、保護者の皆様がご家庭で子どもたちを励まし支えてくださったお陰と心から感謝を申し上げます。また、発表会のご感想もたくさんお寄せくださりありがとうございました。ご感想の文面から多くの方に感動して頂けたことが伺え、子どもたちはもちろんのこと、教職員にとっても大きな励みとなりました。

これからも杭州日本人学校に変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。